



沼津の新しいまちづくりが始まっています。「沼津発⇒未来へ」は県と沼津市が共同で進めている鉄道高架事業を含む沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況や最新の情報等についてお知らせする広報紙です。

## ■ 知事が改めて「不退転の決意を持って事業を推進する」と表明しました

大沼津市長は、鉄道高架事業に関し、市議会11月定例会において「各分野の専門家の方々による検証チームを立ち上げるとともに、市民と議論を進め、市民が納得する形で事業について結論を出していく」と表明し、現時点では事業に賛成でも反対でもないニュートラルな立場を示しております。

これに対して知事は、県議会12月定例会において、「この事業は、**県東部地域の拠点である沼津にふさわしいまちづくりを推進するうえで、極めて重要な事業**であると認識しており、**推進する方向に何ら変更はない**」、「市長が表明されている事業の検証は、県が実施した有識者会議、PIIにおける議論、共通認識などを踏まえ、スピード感を持って結論に達していただきたい」、「沼津市全体のためになるという共通理解のもと、この事業を**不退転の決意を持って一緒に推進**していきたい」と、改めて事業を推進することを表明しました。

## ■ 事業再評価で「継続」が決定しました

県では公共事業の効率性や透明性の向上を図るため、事業採択後、長期間が経過している事業の再評価を実施しています。

沼津駅付近鉄道高架事業については今年度、学識経験者等の第三者で構成される「静岡県事業評価監視委員会」から意見を聴き、事業の継続を決定しました。

### ● 現地調査 (H28.8.16) ・監視委員会 (H28.8.19)



現地調査の様子



監視委員会の様子

### ● 監視委員会が知事へ意見書を提出 (H28.10.25)

⇒ 審議の結果、「**事業の継続が相当**」

⇒ 監視委員会からの意見

- ・長期の事業期間の途中でも事業効果が順次発現されるよう計画的な整備
- ・沼津市との連携による事業推進体制の確保
- ・地域住民への丁寧な説明
- ・事業関連地域のまちづくりの円滑な推進

### ● 県の対応方針の決定 (H28.11.14)

⇒ 監視委員会の意見を踏まえ、「**鉄道高架事業の継続**」を決定

## ■ 埋蔵文化財調査を実施しています

県と沼津市は、用地取得完了後、速やかに工事に着手できるよう、原西部地区の新貨物ターミナル建設予定地において、「中原遺跡」の調査を行っています。

今年度の調査は昨年6月から実施しており、このたび、発掘調査の成果を報告する現地説明会を開催しますので、ぜひご来場ください。

詳細は、広報ぬまづ1月15日号をご覧ください。

- 1 日時 平成29年2月5日(日)10時～12時  
(説明は時間内に適宜実施)
- 2 会場 沼津市一本松字中原  
(新貨物ターミナル現地事務所付近)
- 3 内容 今年度の調査で発見された竪穴式住居や掘立柱建物跡(古墳～奈良時代)を中心に解説



発掘調査の様子

【裏面もご覧ください！】

## ■ 沼津市からのお知らせ

### ● 沼津の新しいまちづくりを考えるグループワークを開催しました！

市では、新しいまちづくりについてのご意見を伺うため、様々な団体に出向き、事業説明を実施しています。

平成28年12月13日には、沼津西高校を訪問し、グループワークを開催しました。



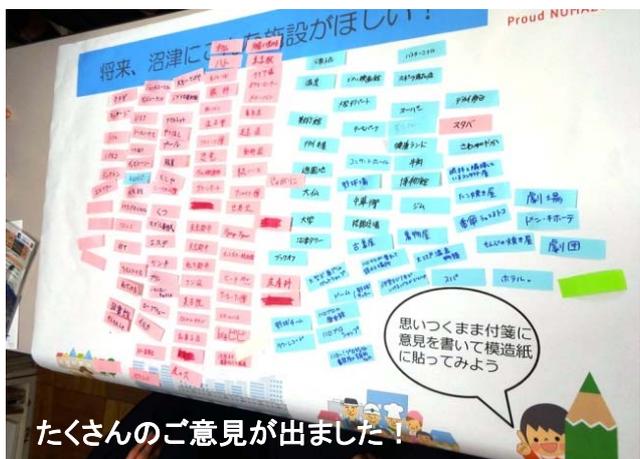
市職員から事業概要等の説明



グループワークの様子

グループワークでは、「沼津タワーや沼津城などシンボリックな建物がほしい」、「駅前にはイベント広場が必要」といった、若者らしいご意見が多数寄せられました。

市では、今後も市民の皆様のご意見を参考に、沼津の新しいまちづくりを進めていきます。



たくさんのご意見が出ました！

## ■ よくあるご質問

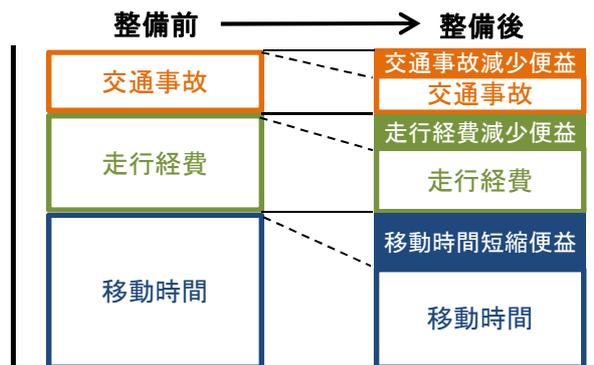
Q 鉄道高架事業の費用便益比(B/C)って、どうやって算出するの？

A 費用便益比とは、「便益」を「費用」で割った値のことで、事業の投資効率性を評価するための指標のひとつです。県では、国土交通省による「費用便益分析マニュアル(連続立体交差事業編)」に基づいて算出しています。

連続立体交差事業の効果は、都市交通の円滑化、鉄道に分断された市街地の一体化及び防災性の向上等が挙げられますが、費用便益比の算出においては、十分な精度で計測ができて金銭換算が可能な「移動時間」、「走行経費」及び「交通事故」についての整備前と整備後の損失の差を「便益」として用います。

「費用」は鉄道施設と関連道路の整備費及び道路の維持管理費の合計を用います。

なお、平成28年度の事業再評価において、県が算出した費用便益比は1.24です。



移動時間短縮便益

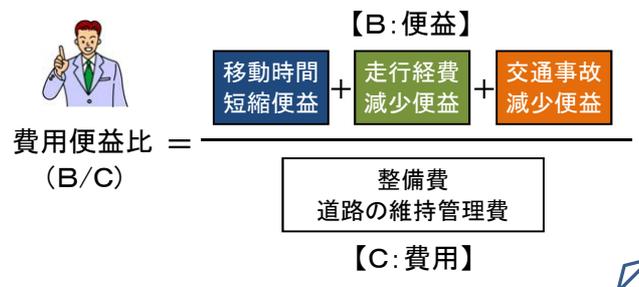
自動車の移動時間短縮、踏切待ち解消  
歩行者等の迂回解消

走行経費減少便益

自動車の経費節減

交通事故減少便益

交通事故による社会的損失の減少



静岡県沼津土木事務所 都市計画課鉄道高架班

〒410-0055 沼津市高島本町1番3号

TEL: 055-920-2222・FAX: 055-926-5527

E-mail: numado-toshikei@pref.shizuoka.lg.jp

URL: <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/>



沼津市沼津駅周辺整備部 推進課

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号

TEL: 055-934-4768・FAX: 055-934-2310

E-mail: suishin@city.numazu.lg.jp

URL: <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/station/index.htm>